

市民ライター
石川伸一さん

●いしかわ しんいち
 鷲別町在住。48歳。
 国家公務員。転勤のため、平成28年に登別へ。
 趣味は、インターネットなどでの文化情報発信。



▲北海道移住フェアで登別市の魅力を発信する福原さん

のぼりべつの 隠れた魅力とは

このまちに来た人、 帰ってきた人に聞いてみる

皆さんは、「登別市の魅力は」と聞かれたときに、どのようなものを思い浮かべますか。温泉でしょうか。それだけでしょうか。

私たちの暮らす『このまち』の魅力は何だろう。それを知るためにお話を伺いました。このまちに『来た人』と『帰ってきた人』に。

登別の魅力を探る

私は、転勤でこの地に来て1年が過ぎました。そして、このまちに居心地の良さを感じています。温泉はもちろん魅力の一つですが、いつも体験しているのに気付いていない魅力がほかにある気がします。それを探るために、登別市に移住してきた方、ふるさと登別に帰ってきた方の二人に会ってお話を聞きました。

地域おこし協力隊として登別市へ

福原豊之さんは平成25年に、兵庫県神戸市から『地域おこし協力隊』として登別市に移住しました。地域おこし協力隊



福原豊之さん

は、都市地域で暮らす人が一定期間、地方に居住して、その地域での特性を生かした活動に従事しながら暮らすものです。

福原さんは、地域おこし協力隊として3年間、登別市の移住施策に尽力。現在も、市の『交流活動専門員』として、引き続き『移住』に関する業務を担当しています。福原さんは、「『移住』というと、海を越えて遠くから来るイメージがあるかと思いますが、登別市では、隣の



市民レポートは、市民の皆さんが自由に発想・企画するページです。

室蘭市から移住する例も多くあります。多くの地域の方に移住を検討してもらうため、温泉だけでは足りない登別市のさまざまな魅力を伝えていく必要があると思っています」と話します。

「温泉というと山の中というイメージがありますが、登別市は太平洋に面しており、海と山に囲まれた自然豊かなまち。見慣れた風景が、季節などによって変化し、外に出るたびに新しい発見があります。天気が良ければ、とりあえず外出しようと思わせてくれるまちです」。

温泉はもちろん、豊かな自然など、さまざまな魅力のある登別市。最もPRしたい魅力は何か、福原さんにお聞きすると、「市民の皆さんが一番の魅力。美しい自然などは他のまちにもあります。本当に固有なものは『人』でしかないと思います」と答えてくれました。

「登別に来て初めて雪虫を見ました。つい気になって追い掛けまわしていたら、『福原さん何しているの』と、町内会で